

大学図書館問題研究会 京都

京都市左京区吉田本町

京都大学教育学部図書室

(竹村心気付)

TEL 075-751-2111 (内3013)

大学図書館問題研究会 京都支部 6月例会 案内

講演「大学教育改革—学問へのプロローグとしての一般教育」

講師：石 躍 胤 央 氏 (徳島大学教授)

会場：京都大学理学部 小会議室 (理学部1号館5F東側・現附属図書館上階)

日時：1982年 6月26日(土)PM 2:00~4:00

大図研京都支部委員会は大学図書館を総合的に発展させるために、①大学の全構成員による自治を基礎に、②資料研究を積極的におこない、資料と利用者を結びつける図書館活動を展開し、③図書館員のミーティングを活発にし、自己研修を基本に図書館員の集団的力量を高めることを確認しました。

この三つの原則を支部活動の基本にすえ、例会も企画して来ました。

6月例会は大学教育を研究テーマにしました。 学生が大学に入学して学問の入口に立つ一般教育課程は大学教育において専門教育以上に大切なプロセスです。この時期に学生が学問といかにかかわるかは、その後の研究方法や科学的態度に重大な影響を与えます。

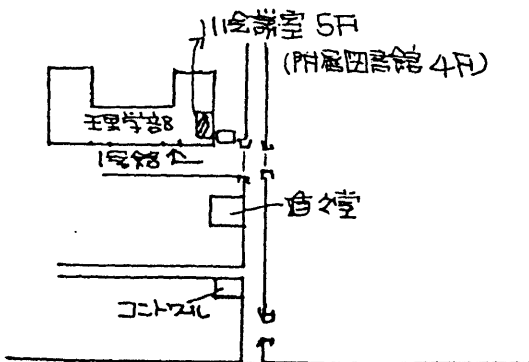
従って、研究方法の一つの構成部分である図書館の利用をも含めた資料の収集や論文の作成能力はこの時期から育てていく必要があります。

こうした課題と取り組んでいる大学教育改革運動が全国に生まれています。(石躍先生の徳島大学での実践もその一つ)

私たち図書館員はこうした大学教育改革運動と結合してこそ、大学の図書館を総合的に発展させる展望を持つことができます。

大学の図書館員だけでなく、大学教育に関心のある学生・大学院生・教職員の参加をも期待します。

Der Formschneider.



Ich bin ein Formschneider gut/
 Wie man man mir für reifen thut/
 Mit der federn auff ein form brüt
 Das schend dich denn mit weim gert/
 Wenn mans dich brudt so sind sich khatff/
 Die bildung/wie sie der entmanff/
 Die sibt denn brudt auff dem poppe!